

Face

「顔」

いいだ **飯田 實徳**さん (74歳)
西根医者屋敷在住

1964年東京オリンピック聖火リレーランナー。金ケ崎町代表の1人として聖火をつないだ。当時使ったトーチを金ケ崎町に寄贈し、大会の機運を高めた。

人と人との輪を大切に 思いで振り返りつなぐ夢

トーチを片手に笑顔を見せる實徳さん



1964年東京オリンピック。日本中をわかせたこの大会の聖火リレーで力強く町内を走り聖火をつないだのが實徳さんだ。当時の話を聞くと「とても緊張した。聖火を消さないようにと必死で走った」と懐かしそうに振り返っていた。

前回の東京オリンピックの時は19歳だった實徳さん。幼いころから取り組んでいたバレーボールで社会人になってからも町内のチームを全国大会に導くなど躍動。その活躍が評価されランナーに抜擢されたという。「沿道ではたくさんの方が応援してくれた。今でも感謝の気持ちでいっぱい」と笑顔の實徳さん。その時使用したトーチや記念メダルを今でも大切に保管しており、「来年の東京オリンピックを少しでも盛り上げられたら」と町に一式を贈った。「聖火を見て人と人との輪の大切さを感じてほしい」と話し、来年の東京五輪聖火リレーランナーに向け「選ばれた人は自信をもって堂々と走ってほしい」とエールを送り、實徳さんの思いを次の世代につないだ。



寄贈いただいたトーチやメダルは8月31日まで役場エントランスホールに、9月からは中央生涯教育センターに展示します。

広報日記



7月から東京オリンピック聖火リレーのランナーの募集が開始され、もう申し込みされた人も多いのではないかと思います。岩手県で33人が選ばれる聖火ランナー。Faceで取材させていただいた飯田さんからトーチ等を寄贈いただいた6月19日は、来年金ケ崎を聖火ランナーが通過するちょうど1年前です。トーチは現在役場に展示していますので、申し込んだ人もこれから申し込もうとしている人もこれを見て気持ちを高めてみてはいかがでしょう。私もトーチを見て気持ちが高まり応募しようか悩み中です。

(阿部)

人口と世帯		6月30日現在	
		※()内は前月比	
人 □	15,626人	(-3)	
男	7,953人	(-7)	
女	7,673人	(+4)	
世帯数	6,077世帯	(+17)	